

## 《学会震災特別プロジェクト企画パネル》

### ■東日本大震災での民間支援活動の多面的探求：「ボラサポ」助成、災害VC、公益法人等調査の分析から 【東日本大震災における民間支援の軌跡と動向調査】

#### 【ねらい】

学会と日本NPOセンターとの連携事業【東日本大震災における民間支援の軌跡と動向調査】(タケダ・いのちとくらし再生プログラム)(2012年～2017年)の一環として、2013年度における3つの成果、調査・研究報告を行い、その内容を共有し批判的検討を受ける。

#### 【内容と構成】

(1) 中央共同募金会「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)のデータ分析から見える民間支援の状況(早瀬・仁平)

「ボラサポ」は、総計42億円の募金を受けすでに30億が助成決定されている。その内訳は、緊急救援活動に5億円、生活支援活動に9億円、復興支援活動に11億円、住民支え合い活動に2億1800万、520万人が助成を受けて活動した。累計2476件の申請情報が存在している。民間支援の状況を把握するうえで非常に重要な資料である。

今回、中央共同募金会の協力を得て分析し、支援活動の状況を明らかにすることを試みる。

(2) 災害ボランティアセンター(VC)聞き取り調査から(筒井・岡本)

東日本大震災での災害VCでのコーディネーションについては、批判を含め多くの議論がされてきた。本プロジェクトではこの点について一定の成果をあげてきたが、2013年度には、被災東北3県の災害VCに対して当時のコーディネーションを中心に担った人々を対象に、日本ボランティアコーディネーター協会と共同調査を行った。その概要と緊急時のコーディネーションの具体的な様相を報告する。非常にきめ細かいコーディネーションがなされている事例など興味深い事実も明らかになってきている。次に生かすべき災害ボランティアのコーディネーションの教訓とは何かを、探求したい。

(3) 内閣府公益認定等委員会公表公益法人等支援活動調査の分析から(松田・岡本)

内閣府公益認定等委員会では、公益法人の支援活動についてwebページで調査内容を公開している。記述式であり、数量化は容易ではないが、テキストマイニングを行い一定の分析を行って、報告したい。

#### 【パネリスト】

城 千聡(じょう ちさと)

中央共同募金会企画広報部・特定非営利活動法人シャプ  
ラニール=市民による海外協力の会理事：社会福祉協議  
会でのボランティアコーディネーターとしての勤務を経て2011年より現職。

早瀬 昇(はやせ のぼる)

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事・社  
会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事：近著に、「義  
援金と活動支援金に関わる課題の整理」『ボランティア  
研究 Vol2』2013年3月

仁平 典宏(にへい のりひろ)

法政大学社会学部准教授：東京大学大学院教育学研究科  
博士課程修了。博士(教育学)。近著に、『「ボランティア」  
の誕生と終焉——〈贈与のパラドックス〉の知識社会学』  
名古屋大学出版会、2011年；『ケア・協働・アンペイドワ  
ーク——揺らぐ労働の輪郭』大月書店、2011年(共編著)。

筒井 のり子(つつい のりこ)

龍谷大学社会学部教授・日本ボランティアコーディネ  
ーター協会代表理事：関西学院大学大学院社会学研究科博  
士課程前期課程修了。近著に「災害時におけるボランティ  
アコーディネーションの課題～東日本大震災におけるボ  
ランティアコーディネーション検証のための枠組み～」  
『ボランティア研究 Vol2』2013年3月。

松田 曜子(まつだ ようこ)

関西学院大学災害復興研究所研究員・准教授・特定非営利  
活動法人レスキューストックヤード理事：2007年京都大  
学大学院工学研究科博士後期課程修了・京大防災研究所  
で地域コミュニティでの災害に対する備えについての研  
究に従事。レスキューストックヤード事務局長を経て、  
2012年より現職。

岡本 仁宏(おかもと まさひろ) =モデレーター

関西学院大学法学部教授：日本NPO学会・震災特別プロ  
ジェクトヒト班代表。